

宇都宮市立富士見小学校 第5学年 児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

【家庭での様子】について

○「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」について、肯定割合が75.3%と、県の平均を3ポイント上回っている。また、「家で、学校や塾の決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」について、肯定割合が66.7%と、県の平均を8.2ポイント上回り、自主学習に進んで取り組む児童が多いと考えられる。

●「家で、学校の授業の復習をしている」について、肯定割合の合計が58.1%と、県の平均を8.6ポイント下回っている。このことから、自主学習に意欲的に取り組む児童が多い一方で、授業内容を振り返ったり苦手な課題に取り組んだりする児童が少ない傾向にある。今後は、本校の「家庭学習のすすめ」をもとに復習に力を入れた自主学習の方法や内容を指導し、進んで取り組む態度を育てていきたい。

【学校での様子】について

○「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」の肯定割合が91.4%で県平均を8ポイントと大幅に上回っている。また、「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」の肯定割合が83.8%で、県の平均を5.6ポイント上回っている。このことから、学習において話し合い活動に対する意欲が高く、友達と意見を交わす良さを実感している様子がうかがえる。今後もペアやグループでの話し合い活動を多く取り入れながら、友達と学び合う楽しさを実感できるよう指導していきたい。

●「勉強していて、おもしろい、楽しいと思うことがある」や「疑問や不思議に思うことは、分かるまで調べたい」の肯定割合については、どちらも0.9ポイント程度県の平均を下回っている。授業において、教材提示の仕方を工夫することで興味関心を高め、自ら学ぶ意欲をもつことができるよう取り組んでいきたい。

【社会のこと】について

○「自分のよさを人のために生かしたいと思う」の肯定割合が91.2%で、県の平均を3.5ポイント上回っている。また、「将来の夢や目標をもっている」の肯定割合が91.4%で、県の平均を4.9ポイント上回っている。今後とも、自己肯定感を高め、発達段階に応じたキャリア教育を推進していきたい。

●「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ている」の肯定割合が78.1%で、県の平均を5.3ポイント下回っている。宇都宮学を始め、地域社会や現代社会についての話題を朝の会などで取り上げるなど、社会に興味をもてるような働きかけを行っていきたい。

宇都宮市立富士見小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・基礎基本の確実な定着	・朝の学習時における漢字や計算練習の実施、ステップアップシートの活用 ・AI型学習ドリルを活用した、個に応じた基礎的・基本的知識・技能の定着	・漢字の読み書きについては、4年生は県の正答率と同程度か下回っているものもあり、5年生は上回っている。 ・数と計算の領域については、4年生は県の正答率と同程度か上回っているものもある。5年生は9ポイント下回っているものもあるが、全体的には同程度か上回っている。 ・4、5年生とも、各教科の基礎、応用内容共に県の正答率を上回っている。
・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	・各教科の見方・考え方を働かせる教師のコーディネート ・「何を学んだのか」を実感させることのできる振り返りの工夫 ・ICT機器の積極的、効果的な活用 ・各種学習調査の結果の分析と指導改善	・「学習したことを振り返る活動を行っている」の項目において、4年生は県の肯定割合を3ポイント下回っているが、5年生は県の肯定割合を1.1ポイント上回っている。 ・「情報の扱い方に関する事項」に関しては、昨年度課題があった領域であるが、今年度の4年生は県の正答率より2.8ポイント上回っているが、他の領域に比べ正答率が低かった。5年生では県の正答率より6.8ポイント上回っていた。
・個に応じた指導の推進による学習意欲の向上	・興味、関心をもって取り組める学習課題の設定 ・教材の開発	・「勉強していて面白い楽しいと思うことがある」「学習に対して自分から進んで取り組んでいる」の項目において、4年生は県の肯定割合を5ポイント程度上回っているが、5年生は県の肯定割合と同程度であった。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
教科に関する調査から、基礎的な知識や技能は身に付いていることが分かるが、記述問題において、要点をまとめたり説明したりする問題になると、無回答も増え、課題が残る。	自分の思いや考えを表出させるための支援	授業時間では、思考する時間を十分に確保し、自分の思いや考えを表出できるようにする。また、自分の言葉で授業のまとめをしたり、自分の考えを振り返って記入したりするなど、大事なポイントを押さえながら短い言葉でまとめるという経験を積み重ねていけるよう引き続き指導を行う。